

バリアフリー社会を考えるシリーズ

バリアフリーの考え方の広がりとともに、障害者の人たちも社会参加するのは当然という考え方が広がりつつあります。しかし街を歩けば、まだまだ障害者の行動を妨げるバリアがたくさんあります。障害者に対する差別

意識や偏見の眼差しも、その一つです。具体的な事例をドキュメントし、若者たちの擬似体験を通して、バリアフリー社会を目指し、バリアを取り除いていこうという意識を高めます。

車いすの人に出会ったら

上映時間 11分

ビデオ版 56,000円

価格は税抜 (C#3477)



目の不自由な人に出会ったら

上映時間 11分

ビデオ版 56,000円

価格は税抜 (C#3478)



耳の不自由な人に出会ったら

上映時間 11分

ビデオ版 56,000円

価格は税抜 (C#3479)



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17

3巻セット 150,000円

価格は税抜 (C#3480)

車いすの人に出会ったら

車いすの人が外出するとき、不便なことが色々ある。歩道の狭さ、放置自転車道が道を塞ぐ、踏切通過の難しさ、駅の券売機に手が届きにくい、通れない自動改札機など、様々なバリアが存在する。

3人の若者は車いすの女性に頼まれて、車いすを持ち上げて階段の上り下りを体験する。実際、車いすの人の手助けをしてみると、3人は分からないことが多いということに気がついた。

3人は車いすの人の生活を少しでも理解するために、福祉機器を疑似体験できる施設を訪れる。手動式、電動式の車いすを体験。車いすに乗って町に出ると、予想以上に大変だ。低い段差でも越えられない、放置自転車などが邪魔で進めない、ゆるやかな坂道でも力が必要……。

■車いすの人に出会ったとき

- ・平坦な場所で障害物がなければ、特に手助けは必要ない。
- ・車いすの人が困っていても急に押したら危険。まず正面から同じ目の高さで声をかける。

この他、車いすの押し方、段差の越え方、坂道、踏切、階段の上り方、下り方、電車の乗り降りなど、具体的に映像で解説する。

最近、体が不自由な人も使いやすい設備が整いつつある。エレベーターがついていて、十分な幅のある歩道橋。また、緩やかなスロープがついている歩道橋。車いすでも利用できるトイレなど。新しい駅は、バリアフリーを考慮にいて、さまざまな工夫がなされている。広い改札口、エレベーターの設置、広いホーム……。

しかし何よりも大切なのは人の心だ。「設備は良くなってきたけど、やっぱり人が手を貸してあげることが大事だと思う」と語る若者。「大げさに考えないで、まず、やってみることが大事だと思う」。

車いすの女性が語る。「こちらも落ち込んでいたら手助けを断るかもしれないし、こっちが頼んでも忙しかったら断ってくださっていいんです。お互いを大切にしようことがバリアフリー社会への第一歩じゃないかと思います」。

まず、お互いをいたわりあうことから始めたい。

《協力》

町田ヒューマンネットワーク／社団法人 横浜市身体障害者団体連合会

耳の不自由な人に出会ったら

町中を歩いても、耳の不自由な人は、見た目では判別しにくい。ある若者は、前の人がハンカチを落としたので声をかけたが、返事なかった。ハンカチを拾い前に回って差し出すと、相手は手話で話し始めた。その人は耳が不自由だったのだ。

音が聞こえないことによって、道路や駅等で、耳の不自由な人はいつも危険にさらされている。

若者たちが試しに耳栓をして街に出てみた。すると、駅のホームで電車が到着する音が分からない、アナウンスが聞こえないなど、想像以上に不便であることに気付いた。

■耳の不自由な人に出会ったとき

- ・手話ができなくても、はっきりと口を動かして話せば、耳の不自由な人が読み取ってくれる。
- ・通じにくいときは、筆談を試みる。

最近、耳の不自由な人にとって便利な設備が増えてきた。病院、役所、郵便局などで順番を知らせる電光掲示板、また筆談通信装置などもある。

耳の不自由な女性が語る。「どうして耳の聞こえる人と、聞こえない人が分離されなくてはならないのでしょうか。健聴者と一緒にいても、『手伝ってあげましょう』とかいわれると対等な人間関係が崩れてしまいます。優しさを越えた対等な人間関係が大事だと思います」。

耳の不自由な人にとって何よりも強い見方は、その場に居合わせたあなたのちょっとした支援の心なのだ。

《協力》

社団法人 横浜市聴覚障害者協会
社団法人 横浜市身体障害者団体連合会

目の不自由な人に出会ったら

ある若者は道路で立ち往生している目の不自由な人を見かけて、駆け寄った。腕を強引に引っ張ろうとすると「肘を貸してほしい」と言われ、彼は目の不自由な人との接し方について考えさせられる。

■目の不自由な人に関して

- ・白い杖は、目が不自由なことを周囲に知らせるだけでなく、足もとが安全か障害物がないか確かめながら歩くのに必要。
- ・不自由なのは道路の障害物。突然、現れる電柱、車止めなど。
- ・点字ブロックは目の不自由な人のみちしるべ。線ブロック、点ブロックと種類があり、それぞれ大事な情報を知らせている。それらの上で、立ち話をしたり、車を止めたりすることは迷惑に。

若者たちは、目が不自由ということを経験するため、アイマスクをして街に出てみた。どこを歩いているのか分からず、まっすぐに歩くのさえ大変。彼らは改めてその大変さを痛感する。

■目の不自由な人への介助の方法

- ・目の不自由な人が困っているようなら、まず声をかけて腕、肩を貸し、安全な場所まで一緒に行く。いきなり手を引っ張らないことが大事。

その他、一緒に歩く方法や信号の渡り方、階段の歩き方、エスカレーターの乗り方、電車の乗り方、盲導犬について等、学んでいく。

目の不自由な人が語る。「完全な人間なんていないんです。同時に一人一人が誰も持っていない素晴らしいところを持っています。その素晴らしいところを寄せ集めれば、もっと素晴らしい世の中になるんじゃないかな」

互いの弱点を補いあって、良いところを生かしていく社会作りが大事なのだ。

《協力》

伊藤明弘さん／ふれあい機／財団法人 日本盲導犬協会
社団法人 横浜市身体障害者団体連合会

企画・制作・・・東映株式会社 教育映像部
2001年作品

プロデューサー：津田 辰己／監督：米沢 昭宣
撮 影：北川 英雄／音楽：杉田 一夫

関東営業所 東京都中央区銀座3-2-17 〒104-8108 ☎03-3535-3631
札幌出張所 札幌市中央区南一条西7-4 〒060-0061 ☎011-231-1439
関西営業所 大阪市北区曽根崎新地1-13-22 〒530-0002 ☎06-6345-9026
広島出張所 広島市中区国泰寺町1-5-31 〒730-0042 ☎082-249-3930
高松出張所 高松市本町11-7 〒760-0032 ☎087-851-3766
名古屋出張所 名古屋市中区錦3-24-3 〒460-0003 ☎052-971-0923
福岡出張所 福岡市博多区中洲4-3-18 〒810-0801 ☎092-262-3101

●お買い上げは……

(株)オプチカル 販売課 教育映像係

香川県高松市屋島西町2484-8

TEL 087-841-1100

FAX 087-841-1101